

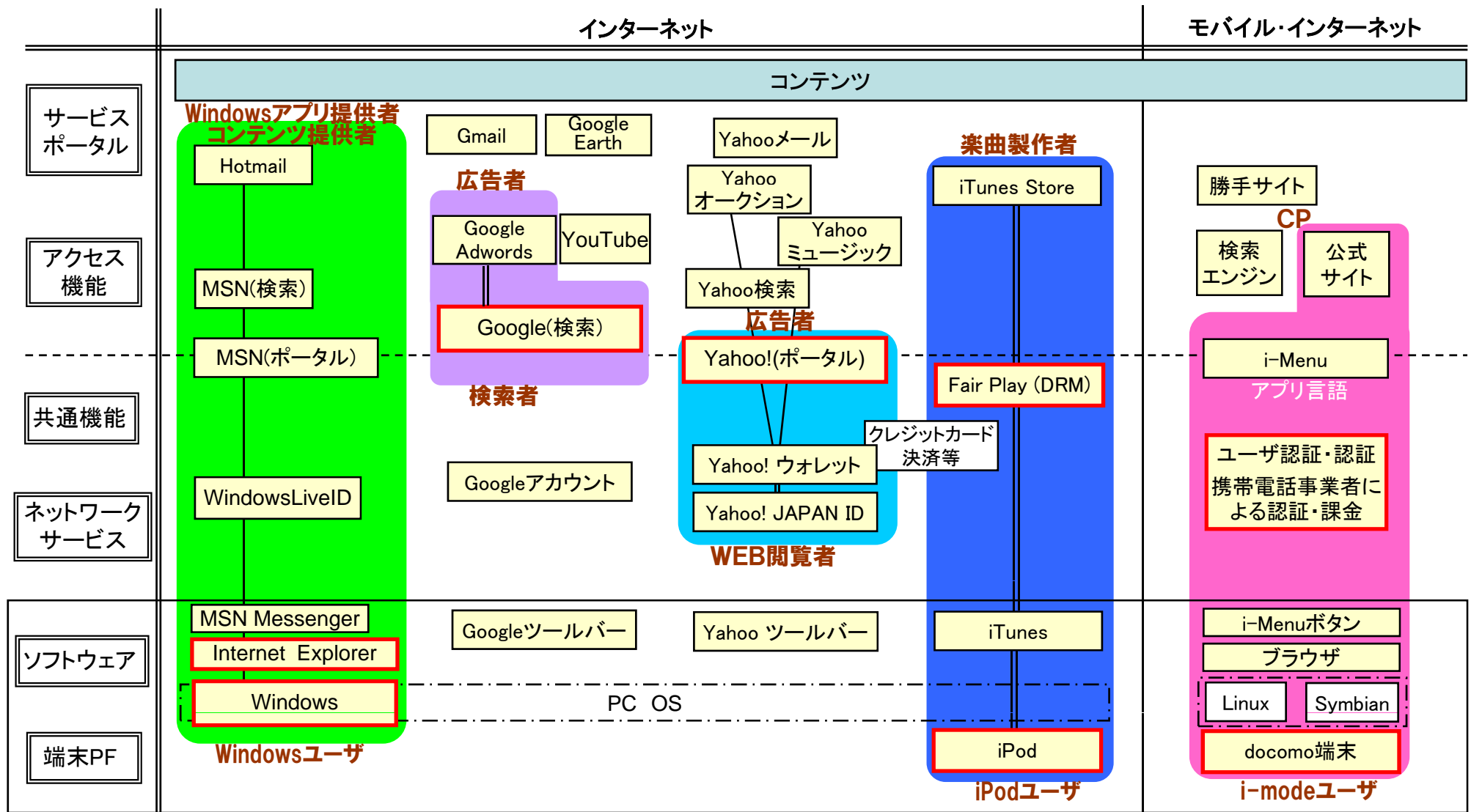
# 通信プラットフォームの在り方について

2008年6月5日  
株式会社NTTドコモ

手のひらに、明日をのせて。

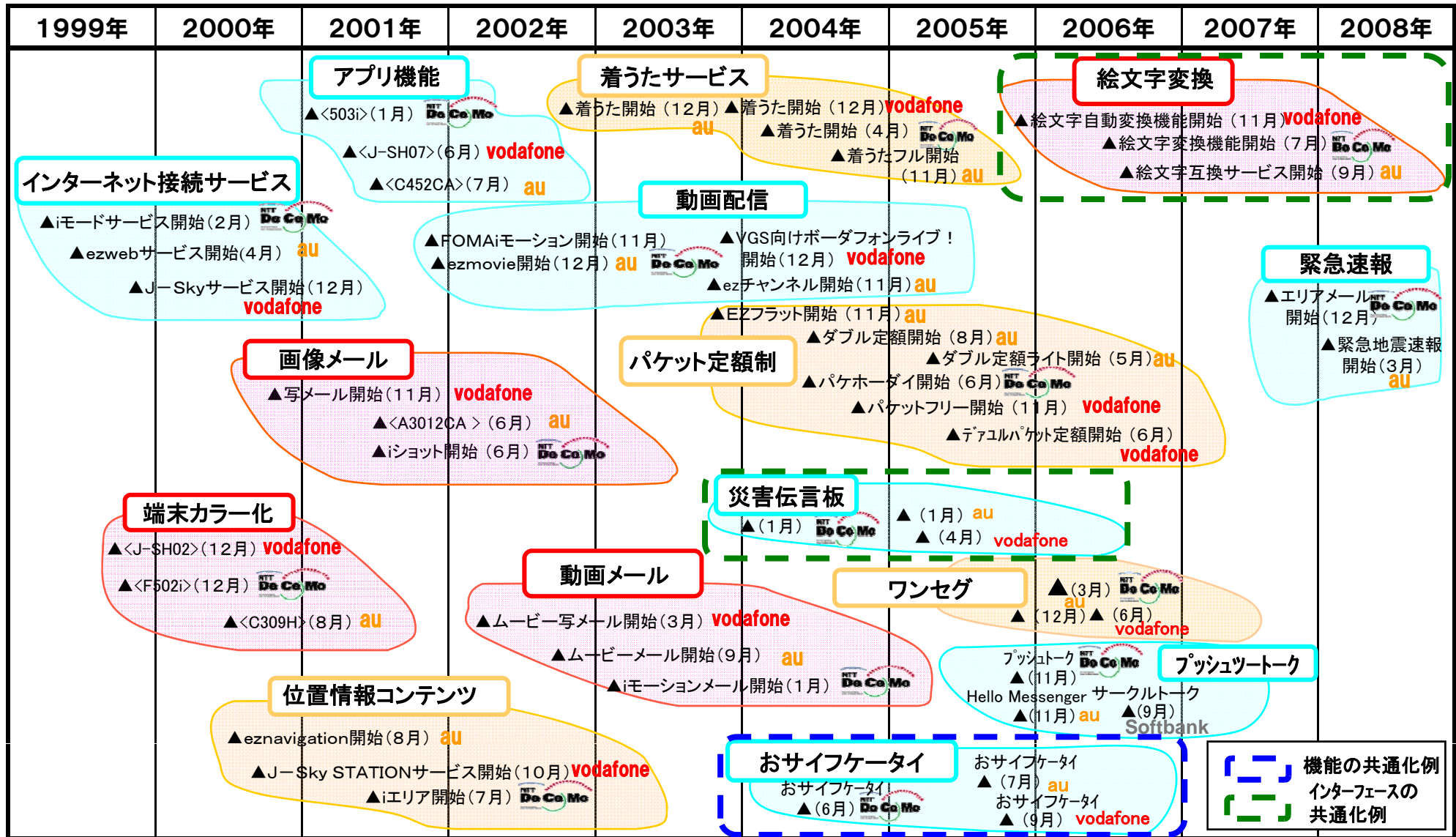
# 1. 通信プラットフォーム機能提供の例

○急激に変化するビジネス環境の中で、様々なプレーヤーが競争の源泉を確保しつつ、多様な通信プラットフォーム機能を提供



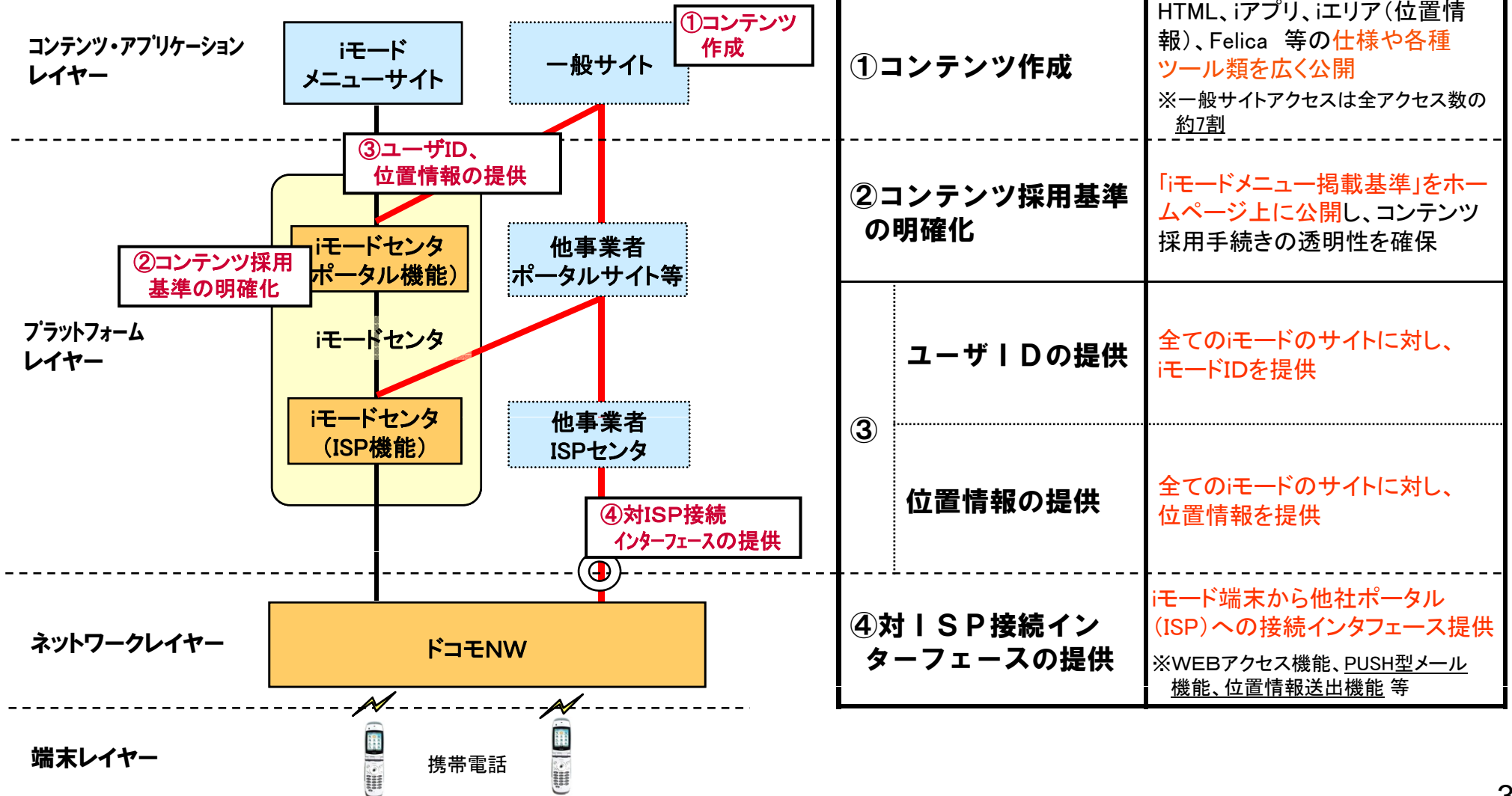
## 2. 携帯電話事業者によるサービス競争の展開

○携帯電話事業者は、熾烈な競争の中、技術革新を伴うサービスの高度化・多様化を各々実現



### 3. iモードの取組み

○ iモードサービスは、様々なレイヤーにおけるプレイヤーの利用拡大を図るため、幅広い機能を提供



## 4. 携帯電話事業者のユーザIDポータビリティについて

現状: 携帯電話事業者は、各々の方法でユーザIDを公式サイトのみならず、一般サイトにも提供  
 ☆セキュリティの確保・提供方法等、各事業者間の競争を通じ、国内のモバイルコンテンツ市場は発展  
 ★利用者が、キャリアを変更した場合に、CPとの契約は引き継げない

○ユーザIDポータビリティ実現のためには、以下の事項を考慮することが必要

**【ユーザ】**

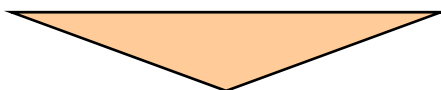
☆キャリアチェンジした場合に、CPとの契約を引き継ぐことは可能  
 ★恒常的にユーザを特定されるIDが発行されることとなり、プライバシー保護の重要性が大

**【携帯事業者】**

☆モバイルコンテンツ市場の活性化  
 ★ユーザID作成方法の秘匿性の確保、フォーマットの標準化への対応、及び実現に向けた調整手法、コスト負担方法の検討要

**【CP】**

☆ユーザの契約が引き継がれることによる契約者数の増大  
 ★フォーマットの標準化への対応



◇プライバシー保護・セキュリティの確保のためのルールの在り方の検討が最も重要  
 ◇多様なプレーヤーがユーザIDを提供している状況下における、ユーザ利便性の向上と発生コストのバランス及び競争への影響

## 5. 今後の検討において考慮頂きたい点

### ○各社各様のオープン化ではなく、インターフェースの共通化に注目することが重要

- ・ユーザー便益の十分な向上
- ・便益とコストとのバランス
- ・技術革新、ビジネスモデルの変化を伴う競争への影響

### ○プラットフォームビジネスモデルの在り方

- ・セキュリティ確保の重要性
- ・サービスの多様性とわかり易さ、汎用性と効率性のトレードオフ関係
- ・最低限のインターフェースの共通化の下、市場競争に委ねるべき

### ○市場のモニタリングの在り方

- ・ユーザの利益保護の視点の重要性
- ・多様なビジネスモデルを踏まえた競争中立的な視点